

番組審議会

第18回BSよしもと番組審議会

■開催年月日： 2026年5月14日（木）

■開催場所： BSよしもと株式会社 会議室

■出席した委員（敬称略）7名中7名出席 *あいうえお順

石川牧子（フリーアナウンサー/NPO 法人日本マナー・プロトコール協会 理事）

大網直子（一般社団法人おーあみ避難所 代表理事）

川上和久（麗澤大学教授）

久保博（一般財団法人日本スポーツ推進機構（NSPO）理事）

品田英明（元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長）

清水義次（建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役）

山田奈美香（山田・尾崎法律事務所 弁護士）

■議題

1. 開会の辞（審議委員長）
2. 開会の挨拶（稲垣社長）
3. 編成関連の報告（4月改編他編成動向、ジャンル種別・比率報告）
4. 視聴者からの反応の共有（コールセンターレポートより）
5. 番組審議
対象番組 「又吉・せきしろのなにもしない散歩」
 - ・ # 145 秋田県横手市（2025年1月15日放送）
 - ・ # 174 山形県山形市（2025年8月 6日放送）
6. 閉会の挨拶（泉取締役）
7. 閉会の辞（審議委員長）
8. 事務局からの連絡

川上審議委員長による開会の辞に続き、社長稲垣より、BS放送業界の最近の動向説明を行い、加えて金田耕司専務取締役兼編成制作局長の6月末での退任に伴い、清水和成編成制作局長が新たに着任するという人事報告を行い、審議会をスタートした。

■審議の経過の概要等

1. 編成関連の報告

○清水編成制作局長補佐より、4月以降の改編及び編成動向について、大きな改編は行わず、現状維持を前提とした編成内容を下記のポイントを中心に説明し、理解された。

① 新規ターゲットの獲得

ターゲットの拡大策として、現状あまり獲得できていない20代～40代の新規視聴者を取り込むため、土曜日・日曜日にメディア露出の多いタレントを起用した、ゴルフ番組「ニューヨーク屋敷のゴルフ交友録」、旅番組「うさいしきんのマイマップ」、野菜の魅力を伝授する番組「すごい野菜の話し」の3番組を新たに編成。

② 企画開発枠「日曜ワク枠」の新設

毎週日曜 22:00～22:30にキラコンテツの発掘を目指した企画開発枠を新設。
まずは2週間から3週間の連続企画等で展開し、定期特番、レギュラー化を目指すもので、4月より「教科書の外を歩く！ガクテンソク・奥田の歴史雑談」他、3番組の放送を開始。

③ 放送枠の変更

視聴数的にも好調である下記2番組を月1回の放送の60分レギュラー番組から隔週30分のレギュラー番組とし、裏週に前週の再放送も編成することで更なる視聴習慣の定着を図る。

- ・「タカトシ&ライオンの！新ゴルフやろうぜ！」毎週土曜9:30～10:00(隔週新作)
- ・「東野ぶらぶらチーキーズ」毎週日曜22:30～23:00(隔週新作)

④ デジタル戦略の強化

今回の4月編成では、放送だけでなくTVerやYouTubeを連動させたデジタル戦略を最適化し、幅広い層へのアプローチと収益性の向上を加速させていくことを方針化

○続いて、編成運行責任者より、昨年10月から本年3月までのジャンル種別・比率について、放送実績データを基に報告を行い、CM放送時間総量が設定基準である30%以内に保たれていることを説明し、全審議委員に確認された。

2. 視聴者からの反応の共有（コールセンターレポートより）

考査部より、本年1月～3月中にコールセンターに寄せられた視聴者からの意見についてのサマリーを報告し、全審議委員に確認された。

3. 番組審議

対象番組 : 「又吉・せきしろのなにもしない散歩」

- ・ # 145 秋田県横手市 (2025年1月15日放送)
- ・ # 174 山形県山形市 (2025年8月 6日放送)

初めに、番組チーフ・プロデューサーである(株)よしもとセールスプロモーション&エリアアクション東日本エリア部長から番組概要についての説明を行い、続いて審議委員長による進行の形で審議を行い、各審議委員から寄せられた質問については番組チーフ・プロデューサーが応答する形式で番組審議を行った。

○各審議委員からは、以下のような意見が寄せられた。

- ・ 開局以来放送されている長寿番組であるが、今回初めて視聴し、すっかりその世界観が好きになり、他の回も見てみたくなった。
- ・ 「何もしない～」というユニークな番組タイトルや、ロゴのデザイン、俳句を板書する際の効果音等の使い方に至るまで、全てがハイセンスな番組である。また、出演者二人のキャラクター、制作スタッフのレベルの高さも感じられる番組である。
- ・ 東北地方に特化し、自由律俳句に特化した内容が、地上波他局にはないBSよしもとらしさが感じられ大変良い。また東北の良さが良く表されていて、行ってみたいくなる作風である。
- ・ 訪れる場所が出演者のキャラクターと相性の良い魅力を感じる場所で、地図などを交え、丁寧に説明されていてとても良い。
- ・ ゆったりしたテンポで描かれ、シニアにとってはとても見やすく共感できた。一方、一般の幅広い視聴者に対しては好みが分かれるかもしれないが、ニッチなターゲットを狙い、コア・ファンを獲得できればそれで良い。例えば、入館料などより詳細な情報があると尚良いのかもしれないが、全体のテンポとのバランスを重視するのであればこのままの情報量でも良いのではないかと。
- ・ ナレーターに多彩な人材が所属している吉本のメリットを活かし、吉本所属の芸人を起用してはどうか。

上記の感想に加え、訪問先の場所の選定が、有名ではなくとも魅力がありとても良いが、どのように選定しているのかという質問が寄せられた。

○上記の番組についての意見と質問に対し、番組のチーフ・プロデューサーより、今後は、番組内により詳しい情報を盛り込むことを検討していきたい旨を述べ、場所の選定については、(株)よしもとセールスプロモーション&エリアアクションの東北エリアの社員、並びに東北のケーブルネットワークのスタッフが、出演者二人が興味を持ちそうなスポットをリサーチし、選定していることを説明し、審議委員に理解された。

4. 閉会の挨拶

審議会のクロージングにあたり、泉取締役より、本日の審議番組のロケ地の選定について、東北系列のネットワーク17局を取りまとめている組織と連携して選定を行っており、地上波では把握しきれない、地域のケーブルテレビ局が持つ多様なローカル情報を共有・活用していると補足説明を行った。

また開局以来毎年、地域で持続可能な新たな事業を推進する広報活動や、エンターテインメントで地域を活性化する広報活動に「BSよしもと賞」を選定・授与している「全国広報コンクール」において、今年、茨城県、群馬県安中市、兵庫県西脇市、埼玉県久喜市の4自治体を表彰したこと、以前番組審議された人気番組『営業-1 グランプリ2025 総決算スペシャル』の番組販売状況と今後の新作の放送展望について活動近況を報告した。

続いて、今回が最後の参加となる金田専務取締役兼編成制作局長より退任の挨拶として、番組制作への思いと今後の課題について、表現の多様性について議論を行ったことなどこれまでの審議会でのエピソードを交え、番組審議会への感謝が述べられた。最後に審議委員長の閉会の辞をもって審議会を閉会した。

■現在のBSよしもと審議会委員（敬称略）

※2026年5月現在

石川牧子（フリーアナウンサー/NPO 法人日本マナー・プロトコール協会 理事）

大網直子（一般社団法人おーあみ避難所 代表理事）

川上和久（麗澤大学教授）

久保博（一般財団法人日本スポーツ推進機構（NSPO）理事）

品田英明（元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長）

清水義次（建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役）

山田奈美香（山田・尾崎法律事務所 弁護士）

*あいうえお順（敬称略）

以上